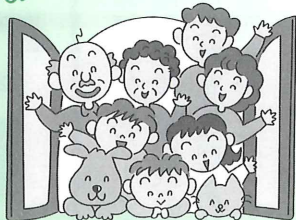


ひとりのため
みんなのため



大洲市

2005年9月号

No.8

社協だより

編集・発行 社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会 〒795-0064 大洲市東大洲270-1
TEL 0893-23-0313/FAX 0893-23-0295

夏休み

高まる福祉ボランティアへの情熱！

福祉体験

ワークキャンプ説明会を行いました。



右上：事前説明会の様子

左上：食事介助（介護用食器を使って）

左：車椅子の介助方法（段差を越えている様子）



7月17日(日)、総合福祉センター4階多目的ホールにおいて、ワークキャンプ参加者を対象に事前説明会を開催しました。

今年度は、特別養護老人ホーム「とみす寮」生活指導員の井上美智子さんを講師にお招きし、ワークキャンプに関する注意事項全般について、食事介助について、コミュニケーションのとり方について、車椅子での移動介助について、それぞれ実技を交えながら説明していただきました。

ワークキャンプ（福祉体験学習）

夏休み福祉体験ワークキャンプは、中高生に体験の機会を与える事を目的に福祉施設等の協力により、平成四年からスタートしました。

十四年目を迎えたワークキャンプも、今年度は合併のため、これまでより参加校・協力施設共に増えました。

目的

社会福祉施設等での体験活動を通じて、社会福祉への理解と関心を高め、ボランティア活動の普及、促進を図る事を目的とします。

実施期間

七月二十五日から八月十九日の間で施設の受入可能な期間（二泊三日又は三日間の通所）

参加費

二、五〇〇円（宿泊・通所とも食事代、ボランティア保険料等を含みます。）



ワークキャンプ受入施設

養護老人ホーム	大洲市清和園		春賀
特別養護老人ホーム	希望ヶ丘荘	デイサービスセンター	若宮
	とみす寮		東大洲
	かわかみ荘		長浜
介護老人保健施設	ひまわり		肱流苑
	フレンド	救護施設	幸楽園
	長浜ひまわり	身体障害者療護施設	大洲ホーム
知的障害児（者）更生施設	大洲学園	知的障害者小規模通所授産施設	あいわ苑
	大洲育成園	精神障害者共同作業所	神山作業所

参加校

大洲南中学校	大洲北中学校	平野中学校	肱東中学校
新谷中学校	大洲東中学校	肱川中学校	
大洲高等学校	大洲農業高等学校	帝京第五高等学校	大洲高校 肱川分校

福祉を通して 福祉を学ぶ

「将来、福祉医療の仕事をした
い」、「お年寄りが好き」、「社会奉仕を体験したい」など、参加の動機は皆さん違います。施設の利用者、そしてそこで働くスタッフの方と過ごす経験は、ノーマライゼーション（障害のある人も、ない人も分け隔てなく共に暮らしていける社会が当たり前の状態であること。）へ向けての一步につながる事でしょう。



福祉教育・体験学習をお手伝いします

大洲市社会福祉協議会では、高齢者疑似体験など福祉体験学習のメニュー紹介や実施についてお手伝いをしています。また、体験学習に必要な器材（車いす、点字器、高齢者疑似体験セットなど）の貸出しも行っています。

詳しくは、社協・地域福祉係までお問い合わせ下さい。

第二回

大洲市介護のつどい

認知症を知ろう！みんなで支え合う安心できる在宅介護を目指して

家族介護の負担を軽くして、寝たきりになっても「出来るだけ住み慣れた地域や家庭で暮らしたい」という高齢者自身の希望をかなえるために介護保険がスタートして5年がたちました。

その間で、介護の状況はどのように変化しているのでしょうか。

介護の問題は、誰もがいつかは直面する身近なテーマです。

今回は、認知症の介護をメインテーマに、目から耳からそして心で介護について体感できる内容を盛り込み、広く市民の方を対象に“第二回大洲市介護のつどい”を開催することになりました。この機会にご近所お誘いあわせのうえ、ふるってご参加下さい。

■日 時 平成17年9月10日(土) 13:00～15:30 (受付開始 12:40～)

■会 場 大洲市総合福祉センター 4階多目的ホール

■参加費 無 料

■プログラム

1 開 会

2 第一部 寸劇 まだ呆けとらんぜ！！
～花子さんのハラハラ、ドキドキ大冒険～

3 第二部 心も体もスッキリ体験

4 第三部 事例紹介

私達にできたこと～今、介護の現場から熱い思いを伝えます～

5 質疑応答

6 閉 会

■主 催 大洲市

■協力機関 大洲市内の介護保険サービス事業者



平成17年度 大洲市ボランティア連絡協議会研修

数十年に起ると予想されている東南海地震や昨年の中越地震など、地震の脅威が身近になっています。もし、災害に遭ってしまったら、何をすればよいのか、けが人の救助はどのようにしたらよいのか…。6月26日に行いました、第1回の災害ボランティア研修に引き続き、第2回災害ボランティア研修を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

■テ ー マ 『災害時の救護方法』

■日 時 9月17日(土) 10時30分～16時00分

■会 場 河川防災ステーション(予定)

■連絡先 大洲市社会福祉協議会 TEL23-0313 (担当：服部)

大洲市ボランティア連絡協議会 TEL23-5787 (担当：新)

第13回 2級ヘルパー養成講座受講生募集

■対 象 者 原則として大洲市・喜多郡在住の方で、訪問介護事業に従事することを希望する方

■開講機関 平成17年9月1日(木)～平成17年11月末日の予定

■募集人員 25名

■受 講 料 40,000円 (テキスト代含む)

■研修場所 大洲ホーム及びデイサービスセンター春賀

■申込締切 定員になり次第、締め切ります。

■申込み先 大洲ホーム事務局 TEL26-1216 (担当：中村)



まじゅうのおくりもの

六月二十五日

七月十九日まで（敬称略）

金銭の部

（一般分）

香典返し

東大洲 岩井 邦治

（指定分）

菅田地区協へ

松山市 二宮 京子

肱川地区協へ

宇和川（大和） 山内 吉晴

名荷谷（共栄） 坂 幹幸

山鳥坂（敷水） 森本 宗高

上須戒地区協へ

上須戒 本川 正光

河辺地区協へ

川上（百合谷） 花岡国太郎

三嶋（竹の瀬） 滝本ヤヨ子

平地区協へ

（介護キップ精算金）

若宮公民館へ

徳森 尾上 エイ

新谷地区協へ

若宮 祖母井真直

新谷 野寄 全昭

喜多山 藤田 光男

大川地区協へ

蔵川 永田 勇公

平野地区協へ

平野町 松平 忠

あたたかい善意をありがとうございます。
ございました。感謝をこめて掲載させていただきます。



事業主のみなさんへ

— ご存知ですか「障害者雇用継続助成金」を —

事業主に採用された後に労働災害、交通事故等により身体障害者又は精神障害者となった労働者（いわゆる中途障害者）の雇用を継続するために必要な施設の設置、職場適応措置等を実施する場合に、その費用の一部を助成する制度です。

1. 中途障害者作業施設設置等助成金

第1種 施設や設備の設置又は設備に要する費用の2/3

限度額は、中途障害者1人につき450万円

第2種 施設や設備の貸借に要する費用の2/3

限度額は、中途障害者1人につき

月13万円 3年間

2. 重度中途障害者職場適応助成金

・重度身体障害者及び精神障害者

・45歳以上の身体障害者

・重度身体障害者及び精神障害者である短時間労働者

中途障害者1人あたり 月3万

（短時間労働者2万円）3年間

また、障害者を新規に雇い入れ、又は継続して雇用する場合にも各種の助成金制度が設けられています。詳しくは最寄りのハローワークまたは当協会にお問い合わせ下さい。

（社）愛媛県障害者雇用促進協会 TEL089-931-7131

心配ごと相談 9月の予定

大洲市社会福祉協議会（本所）	毎週月・水（一般相談）	火・木（法律相談）	金（介護相談）
	大洲市総合福祉センター	10時～16時	
長 浜 支 所	9月30日（金）	大洲市長浜体育館	9時～15時
肱 川 支 所	9月5日（月）	大洲市肱川公民館	13時30分～16時30分
河 辺 支 所	9月12日（月）	大洲市河辺老人福祉センター	9時～12時
お問合せ先 本所 TEL 23-0313（代表）※相談室直通 TEL 23-5629			
長浜支所 TEL 52-1111（大洲市役所長浜支所内） 肱川支所 TEL 34-2312 河辺支所 TEL 39-2510			